

令和7年度 一般社団法人 長野上水内教育会 総集會要項

I 期 日 令和7年5月17日(土)

II 会 場 長野上水内教育會館 参集およびオンライン

III 日 程

- | | | |
|---|----------------------|-------------|
| オンライン入室 | 8:25~8:50 | |
| 来賓・参集者受付 | 8:30~8:45 | |
| 来賓着席 | 8:49 | |
| 開会 | 8:50 | |
| 1 開会の辞-----副会長----- | 8:50 | |
| 2 令和7年度役員紹介-----会 長----- | 8:51 | |
| 3 会長挨拶-----会 長----- | 8:54 | |
| 4 来賓祝辞----- | 8:58 | |
| 荻原 健司 長野市長 四市町村代表
北田 愛治 小川村教育長 四市町村教育委員会代表
大日方 貞一 信濃教育会会長 | | |
| 5 来賓紹介-----副会長----- | 9:13 | |
| 休 憩----- | | 9:15~9:25 |
| 6 教育対話----- | 9:25~11:55 | |
| 司会進行
鬼無里小学校 高橋 亜紀先生 附属特別支援学校 熊谷 真理先生 | | |
| ＜第1部＞ R6の同好会・視察研修・信濃教育会研究論文報告 | | |
| ・長野上水内体育学習指導研究会 篠ノ井西小学校 村松 崇志先生 | | |
| ・長野上水内FR教育研究会 若槻養護学校 吉田 希先生 | | |
| ・視察研修報告 綿内小学校 吉田 祐紀先生 | | |
| ・信濃教育会研究論文 若穂中学校 小林 愛先生 | | |
| 休 憩----- | | 10:06~10:15 |
| ＜第2部＞教育対話 | | |
| テーマ「Tomorrow's school
～私たちがNZで学んだことをどう生かすか～」 | | |
| ファシリテーター | 長野上水内教育会事務局長 田川 昌彦先生 | |
| 助言者 | 信州大学教育学部教授 伏木 久始先生 | |
| パネリスト | 徳間小学校 武田 佑樹先生 | |
| | 附属長野小学校 小田切 洋輔先生 | |
| | 附属長野中学校 堀口 はるか先生 | |
| | 塩尻市立広陵中学校 宮川 友梨先生 | |
| 7 閉会の辞-----副会長----- | 11:55 | |

【講師プロフィールおよび問題提起】

伏木 久始先生



- ・1963年栃木市生まれ 信州大学学術研究院教育学系教授：博士（教育学）
- ・東京都内で心理カウンセラー、中学校教諭、高等学校教諭を経て、大学院博士課程に在学後、小学校教諭を経て、信州大学教育学部に転任。国内外の学校の教育課程や教科横断的な学習のカリキュラムを研究対象としている。中教審教員養成部会教育課程専門委員、NITS フェロー、長野県教育委員会教育長職務代理者、フィンランド国立教育研究所研究員、北海道教育大学・へき地小規模校教育研究センター等を歴任。

教師の仕事は、自分が体験した教育の再生産や前例踏襲に陥る傾向が強い。集団教育が前提となり一人ひとり個性的な子どもを対象にしていることが軽視されがちな日本の学校を、国際的な視野から問い直す機会が必要である。

田川 昌彦先生



一般社団法人 長野上水内教育会 事務局長
1957年上田市生まれ
神奈川県・長野県の公立中学校社会科教員
鍋屋田小学校校長
長野市教育委員会教育次長
長野県教育委員会心の支援室教育主幹 など

「子どもファースト」の国ニュージーランド
「Tomorrow's school」と名付けられた1989年からの教育改革で「学校は誰のものか？」を徹底的に議論して辿り着いたのが「現場のことは現場に任せるしくみづくり」でした。若い先生方が肌で感じたニュージーランドの教育と、日本の明日の教育に生かせるヒントを語り合います。

令和6年度 長野上水内教育会 事業報告

1 会員数 1,481名 (R6.9.19現在)

2 役職員

- (1) 顧問 野口茂雄
- (2) 会長 (代表理事) 早川孝一
- (3) 副会長 (業務執行理事) 霜田里美 清水秀昭
- (4) 理事 宮澤忠利 長井裕之 清水重光 藤倉佳子 阿部悦夫
馬場広一 桐生 彰
- (5) 監事 関川あかね 加藤好章 上原芳則
- (6) 常任委員 山中美佳 後藤真道 田中耕史 小林浩一 宮尾昭広
片山ますみ 山口直行
- (7) 幹事長 寺島 努
- (8) 幹事 清水直人 友野裕一 小林和子 水上淳一 中村恭之
宮澤俊樹 今田利弘 土屋真貴子 目黒哲朗 中村深志
栗林えり子 梨子田昌央 西澤直樹 中島紀子 内田潤一
- (9) 事務職員 田川昌彦 神頭久典 諸岡治子
- (10) 信濃教育会関係役員
常任委員 早川孝一 霜田里美
代議員 野口茂雄 清水秀昭 寺島 努 勝野 学 山中美佳
桐生 彰 後藤真道
補欠員 島立仁美

3 会議

- (1) 総会 5回
- (2) 役員会 理事会 10回 常任委員会 9回 支会連絡会 2回
幹事会 13回 監査会 1回

4 事業の概要

(1) 研究調査事業

「語り合おう 深めよう 広げよう」をスローガンとして、教職員のライフステージに応じた3つの部門を設け、会員が身近な教育課題についての研究や現下の教育課題や学校現場の喫緊の課題に応えるための研究を行う。市教育センター研究委員会との共同研究を進め、委員の力量向上を図る。教科研究部は、1委員会7名程度の委員とし、原則全員が授業公開を行う。

- ① 教師力向上部 授業づくりの課題や悩み、工夫や喜びを語り合える場 (4委員会)
 - ・ 共育塾企画運営/エデュケーションオンラインカフェ長野上水内
 - ・ 楽しい授業と学級づくり/わかる授業と学級づくり
- ② 教科研究部 授業を通して、教師の指導力向上に向けた実践研究の場 (13委員会)
 - ・ 国語/社会/算数・数学/理科/生活科・総合的な学習の時間/音楽/図工・美術/体育・保健体育/家庭科・技術家庭科/外国語活動・英語/道徳教育/特別

活動／特別支援教育

③ 特企画部 学習教材の開発、教育会や地域を調査し伝える研究の場 (9 委員会)

- ・デジタル広報／科学展／図工美術展／書写書道展／教材データベース
地図作成／社会科資料作成／会報編集／会誌編集

(2) 講演講習事業

① 総集会 5月18日(土) 参加者 401名

- ・開催方法(会場)：オンラインと教育会館参集のハイブリッド開催

I部 研究委員会活動報告	共育塾企画運営委員会	篠ノ井東中	齋藤貴弘先生
	社会科研究委員会	市立長野中	中村広登先生
	教材データベース委員会	小川中	遠藤公洋先生
	Edカフェ長水委員会	櫻ヶ岡中	阿部考彰先生
		小川小	小山堅治先生

II部 教育対話 テーマ「自律した学習者の育成～学びのその先へII～」

ファシリテーター	：長野県教育委員会教育長	武田 育夫先生
助言者	：埼玉大学教育学部教授	岩川 直樹先生
パネリスト	：城東小学校教諭	奥井 一良先生
	牟礼小学校教諭	徳永 幹子先生
	三陽中学校教頭	駒村かつ美先生

② 講師研修会&長水セミナー

- ・講師研修会 5月24日(金) 講師：鍋屋田小学校校長 永井克昌先生 参加者 23名
- ・長水セミナー 11月15日(金) 信州教師塾B(信濃教育会と共催) 参加者 17名
講師：「教と育」研究所代表 内藤 睦夫先生
信州大学教育学部助教 宮野 尚先生
信州大学教育学部講師 楠見 友輔先生

③ 初任者研修会 (市教委と共催) 4月9日(火)長野市教育センター 参加者数 68名

④ 夏季大学 7月30日(火)～8月1日(木) 1～4講座 教育会館よりオンライン

- ・7月30日(火) 第1講座 (歴史)
講師 長野市立博物館協議会会長 宮下 健司先生 参加者 311名
演題「時を刻む長野の景観とカタチ」
- ・7月30日(火) 第2講座 (哲学・思想)
講師 作家・詩の道化師 ドリアン 助川先生 参加者 310名
演題「私たちはなぜ生まれてきたのか?～小説“あん”でハンセン病回復者の人生を描いた意味～」
- ・7月31日(水) 第3講座 (教育)
講師 大阪多様性教育ネットワーク共同代表 土田 光子先生 参加者 287名
演題「差別の構造を考える～知る・重ねる・深める・つながる・行動する力をつけるために～」
- ・7月31日(水) 第4講座 (自然科学)
講師 青山学院大学教授 福岡 伸一先生 参加者 227名
演題「生命を捉えなおす～動的平衡の視点からII～」
- ・8月1日(木) 第5講座 (芸術) 長野県立美術館
講師 長野県立美術館専門学芸員 青山 由貴枝先生 参加者 58名
テーマ「鑑賞とは～『よく見る』ってなんだろう～」
- ・8月1日(木) 第6講座 (哲学) 黒姫童話館

- 講師 長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科講師 神戸 和佳子先生
 テーマ「こどもの世界へ～童話の森で哲学対話～」 参加者 33 名
- ・ 8月 1日(木) 第7講座 (自然科学) 戸隠森林植物園ほか
 講師 戸隠地質化石博物館研究員 田辺 智隆先生 中村 千賀先生
 テーマ「戸隠森林植物園や奥社周辺の自然を学ぶ」 参加者 56 名
 - ・ 8月 1日(木) 第8講座 (歴史) 松代
 講師 エコール・ド・まつしろ倶楽部 曲尾 正子氏 山本 薫氏
 小野里英一氏 小林 良行氏 今井喜久男氏 参加者 51 名
 テーマ「真田十万石城下町の伝統文化を体験」
 - ・ 8月 1日(木) 第9講座 (自然科学) 野尻湖ナウマンゾウ博物館
 講師 野尻湖ナウマンゾウ博物館館長 近藤 洋一先生
 テーマ「野尻湖の水位変動と地球環境～水の歴史をさぐる～」 参加者 30 名
 - ・ 8月 1日(木) 音楽の夕べ 若里市民文化ホール 参加者 205 名
 講師 絵本作家・シンガーソングライター このの ひとみさん
 テーマ「小さな声に耳をかたむけていますか?～絵本による命の授業～」
- ⑤ 教育懇談会 8月3日(土) ホテルメトロポリタン長野 参加者 276 名
 映画上映と懇談:「夢みる校長先生～子どもファーストな公立学校の作り方～」
 近況報告:小井川小学校校長 涌井 雅幸先生 和小学校教頭 横谷 智子先生
- ⑥ 冬季大学 9月～2月
 これまで行われてきた同好会の講演会や、特別企画部共育塾企画運営委員会の研修講座等をパッケージ化して会員に広く広報することにより、後期の教育会活動や同好会活動の活性化を図る。
 <共育塾企画運営委員会>
 共育塾 11月9日(土) 参集とオンラインのハイブリッド開催 参加者 48 名
 講師:ヤッホーブルーイング 長岡 知之氏
 演題:「チームよなよなエールが実践する well-being～みんなで未来を創る～」
- ⑦ 哲学対話 2月15日(土) 信州大学教育学部参集・オンライン 参加者 134 名
 講師 東京大学大学院教授 梶谷 真司先生
 演題「考えることと書くこと～対話的文章法の試み～」 講演と演習
- ⑧ Ed カフェ長水 年間5回オンライン+オフ会1回
 中心講師:信濃教育会会長 大日方貞一先生 埼玉大学教育学部教授 岩川直樹先生
 委員が自らテーマを決め、互いの教育観について語り合い、深め合う
- ⑨ 苫野一徳先生ワークショップ 11月30日(土) オンライン 参加者 47 名
 講師:熊本大学教育学部准教授 苫野 一徳先生
 演題:「体験してみよう!本質観取～学びとは何か?～」
- (3) 研修助成事業
- ① 研修補助
- ・ 個人・グループ研修補助 前期 21 本 後期 23 本 計 44 本
 - ・ 同好会補助 22 同好会
 - ・ 同好会講演会補助 教育カウンセリング・集団づくり同好会 河村 茂雄先生講演会
 - ・ 同好会県大会補助 第72回長野県算数数学教育研究(長野上水内)大会 兼
 第79回関東甲信静数学教育研究(長野)大会

- ・支会活動補助 7支会
- ・研究団体補助 科学展、図工美術展、書写書道展、今を生きる子どもの絵展
- ② 海外視察派遣 8月9日(金)～18日(日)10日間
ニュージーランド ロトルア リンモア小学校での参観 授業実習 教育関係機関の視察 学校スタッフ宅でのホームステイ
参加者6名(派遣教員4名 引率者2名)
- ③ 会誌「長野上水内教育」第16集発行
- ④ 各種研修補助報告書 第15集発行
- (4) 教育図書研究調査事業
 - ① 社会科資料集作成 わたくしたちの郷土
 - ② 地図作成
 - ③ 教材データベース 各種資料を教材データベースとしてHPに掲載
 - ④ デジタル広報 長野上水内教育会HPをリニューアル
- (5) 生涯学習支援事業
 - ・施設貸与

令和6年度収支決算の概要

科目		内容	決算額(円)
経常 収 益 A	受取会費	会費等	33,123,721
	事業収益	会館使用料 印税等	933,168
	受取補助金	更級教育館維持管理 市町村教委 等	1,411,290
	受取負担金	雑誌取扱手数料	165,790
	雑収益	預金利子 電柱敷地使用料 等	124,885
	経常収益合計		35,758,854
経常 費 用 B	研究調査費	研究委員会旅費 諸謝金 賃借料 等	1,123,561
	講演講習会費	夏季大学 総集会 哲学対話 等	3,473,675
	研修助成費	個人グループ研修補助 同好会補助 海外視察派遣補助等	6,130,626
	会誌等発行費	会誌 研修報告書 等	910,245
	教育図書研究調査費	社会科資料等 委員会旅費	102,830
	事業共通費	事務局給料手当 退職給付引当金 会議旅費 減価償却費 備品費 消耗品費 修繕費 委託費 光熱水料諸費 租税公課 保険料 賃借料 等	12,570,697
	管理費	会議費 会報発行費 事務費 等	10,991,327
	経常費用合計		35,302,961
財 産 額	当期経常増減額	A-B = 当期一般正味財産増減額	455,893
	一般正味財産期首残高		214,465,973
	一般正味財産期末残高		219,759,996

令和6年度事業報告ならびに収支決算書については、4月11日(金)に行われた第1回総会で承認されています。詳細は各校代議員がお持ちの「令和6年度事業報告」「令和6年度収支決算書」をご覧ください。なお、収支決算書は、4月8日(火)に行われた会計監査会において監査を受け、監査報告についても第1回総会の場で承認を受けています。

【参考】令和6年度 同好会一覧

	同好会・研究会名	責任者名	実務担当者	会員数	
				会員数	内教育会会員数
1	長野上水内国語教育研究会	藤倉 佳子 安茂里小	松本 雅生 柳町中	20	18
2	長野上水内社会科教育研究会	後藤 真道 豊野中	塚尾 誠貴 市立長野中	78	73
3	長野上水内算数数学教育研究会	加藤 好章 真島小	善財 宏昌 若槻養護	62	59
4	長野上水内理科教育研究会	小林 俊子 芋井小	金箱 仁志 緑ヶ丘小	98	79
5	長野上水内英語同好会	山下 由紀子 篠ノ井東中	山田 崇史 川中島中	16	14
6	長野上水内音楽教育同好会	島立 仁美 下氷鉋小	伊藤 雅美 青木島小	67	56
7	長野上水内体育学習指導研究会	佐藤 俊彦 大岡小	小林 克年 櫻ヶ岡中	112	103
8	長野上水内技術・家庭科教育研究会	小林 克浩 三陽中	小島 一生 北部中	40	31
9	長野上水内道徳教育学会	松谷 かおる 牟礼小	松谷かおる 牟礼小	14	14
10	長野上水内総合生活科教育研究会	関川あかね 豊野東小	伊藤 昭典 芹田小	8	8
11	長野上水内道元の心に学ぶ会	鈴木 聡 青木島小	太田 考一 三陽中	18	3
12	長野上水内教育カウンセリング・集団づくり同好会	片山 洋一 城山小	吉岡 典彦 戸隠中	44	39
13	長野上水内書写書道教育研究会	小池 勲 若槻小	早川 千恵子 浅川小	44	32
14	長野上水内哲学同好会	早川 孝一 通明小	宮島 新 城山小	19	18
15	長野上水内美術教育研究会	小林 浩一 小川中	坂井 大輝 三陽中	40	30
16	長野上水内小学校管楽器教育研究会	島立 仁美 下氷鉋小	宮澤 豊 緑ヶ丘小	19	15
17	長野上水内幼年教育研究会	清水 秀昭 南部小	長谷部謙一 朝陽小	109	57
18	長野上水内視覚障がい教育研究会	青木 昭 長野盲	田中 瑞絵 長野盲	48	13
19	長野上水内子どもの学びの質を考える会	駒津 美恵 七二会小	下崎大吾 七二会小	50	26
20	長野上水内FR教育研究会	大石 卓司 若槻養護	吉田 希 若槻養護	67	43
21	長野上水内 掃除に学ぶ同好会	後藤 真道 豊野中	中村 明史 豊野中	17	16
22	長野上水内 国際理解教育研究会	宮澤 忠利 城東小	清水 令子 豊野東小	22	20

令和7年度 一般社団法人 長野上水内教育会事業計画

1 会員数 1,443名 (R7.5.2現在)

2 役職員

- (1) 顧問 早川孝一
- (2) 会長(代表理事) 勝野 学
- (3) 副会長(業務執行理事) 宮澤俊樹 寺島 努
- (4) 理事 宮澤忠利 松田幸一 涌井雅幸 藤倉佳子 阿部悦夫
桑原文彦 末石 円
- (5) 監事 関川あかね 青木和夫 小山俊樹
- (6) 常任委員 山中美佳 今田利弘 田中耕史 小林浩一 宮尾昭広
塩崎正昭 山口直行
- (7) 幹事長 清水直人
- (8) 幹事 西澤直樹 佐藤利恵 友野裕一 関口順子 水上淳一
中村恭之 山下由紀子 土屋真貴子 目黒哲朗 中村深志
横谷智子 徳永幹子 高橋 俊 中島紀子 内田潤一
- (10) 事務局 田川昌彦 神頭久典 諸岡治子
- (11) 信濃教育会関係役員
常任委員 勝野 学 寺島 努
代議員 早川孝一 宮澤俊樹 清水直人 桐生 彰 今田利弘
塩崎正昭 涌井雅幸
補欠員 長井裕之

I 基本方針

一 教育を取り巻く状況と課題

(1) 状況

- ① 個人や社会の well-being の実現や持続可能な成長発展を目標とする動き
- ② 急速な技術革新に伴う IoT や AI の進歩による society5.0 時代の到来
- ③ 多様な子どもたちの資質・能力の育成への要請
- ④ 人口減少・少子高齢化に伴う児童生徒数の減少、教職希望者数の減少

(2) 課題

- ① 予測困難な時代(VUCA の時代)に対応した教育の実現
- ② 多様化する児童生徒への対応(個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、特別な教育支援を必要とする児童生徒への対応等)
- ③ 学校における働き方改革と人材育成

二 事業推進の基本

1 教育会の主題

「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」

2 運営の基本方針 <自ら求め 人を知り 人とつながり 学び続ける>

- (1) 定款第2章に定める長野上水内教育会の目的及び事業に基づき、職能団体として機

能を十分に発揮し、その実現を期する。

- (2) 教職が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師自身が士気を高め、誇りを持って働くことができるよう、新時代の学びを先取するとともに働き方改革の実現を図り、未来の長野上水内教育を背負っていく人材を育成する。
- (3) 「多様な他者との対話と協働」を活動の基盤に据え開かれた教育会運営に努める。

3 運営の重点

(1) 研究委員会・同好会の一層の充実

- ① 研究委員会のあり方検討：教育課程研究協議会の見直しを踏まえて授業研究・教育課程編成のあり方等について検討
- ② 教師力向上部：ミドルリーダー・若手教員の力量の向上 Ed カフェ長水（対話）の普及、テーマ別研究委員会の検討
- ③ 教科研究部：授業力の向上 市教育センターとの共同研究 原則委員全員授業公開
- ④ 特別企画部：教育会の歴史・文化の継承 幅広い委員の選出
- ⑤ 人材の活用：県・市指導主事、(株) 柏与・信教印刷など専門家の助言
- ⑥ 特別支援学校会員の増加：特別支援学校幹事・研究委員会世話係・委員の委嘱
- ⑦ 同好会との連携：同好会実務担当者会（活性化の方策の検討）わくわくリーダーズながのの企画 郡市間連携

(2) 多様なニーズに応える魅力ある事業の推進と働き方改革

- ① 全国教員研修プラットフォーム（Plant）、教育会研修を法定研修の校外研修に位置づけ 研修履歴活用
- ② 初任者研修会：市教育センターと共同開催
- ③ 信濃教育会・北信他郡市教育会との連携：事業案内の相互配信 オータムセミナーの共同開催（上高井教育会）懇談会の実施
- ④ 夏季大学・冬季大学：一流講師の招聘 オンラインと参集のハイブリッド型研修
- ⑤ 対象を焦点化した研修の実施：若手教員、講師、産育休者、再任用者

(3) ICTの効果的な活用と積極的な情報提供

- ① 情報発信のデジタル化：ホームページ スクリレ 公式YouTubeチャンネル
- ② ICTによる業務効率化：Googleform・二次元コードによるアンケートや申込 Googlechat・Googledriveの活用によるペーパーレス化
- ③ 学校のICT活用促進：MAXHUB Zoomアカウント貸与と技能の継承
- ④ 個人情報保護の保護：HP掲載（動画映像や個人名などの配慮）

(4) 地域、企業、市民、各種教育機関との協働

- ① 講演講習事業への保護者・児童生徒・一般市民の参加 HP 児童生徒作品展の実施
- ② 他団体との協働：長野市教育委員会「わくわくリーダーズながの」
中学校長会「生徒会サミット」
- ③ 他団体との連携：参加募集の乗り入れ 県シニア大学・退職校長会・賛助会等
- ④ 信州大学との連携：授業参観や夏季大学・スプリングセミナーの参加呼びかけ
- ⑤ 信濃教育会・他郡市教育会との連携：懇談会の実施 日連教長野大会運営の推進
- ⑥ 積極的な会議室貸与：教育会収入の安定化

II 事業内容

一 人材育成及び人材育成支援事業

1 研究調査事業

(1) 研究委員会

「語り合おう 深めよう 広げよう」をスローガンとして、教職員のライフステージに応じた3つの部門を設け、会員が身近な教育課題についての研究や現下の教育課題や学校現場の喫緊の課題に応えるための研究を行う。市教育センター研究委員会との共同研究を進め、委員の力量向上を図る。教科研究部は、1委員会7名程度の委員とし、原則全員が授業公開を行う。

- ① 教師力向上部 授業づくりの課題や悩み、工夫や喜びを語り合う場（5委員会）
 - ・ 共有塾企画運営／エデュケーションオンラインカフェ長野上水内／授業・学級づくり（小学校）／授業・学級づくり（中学校）／特別支援教育
- ② 教科研究部 授業を通して教師の指導力向上に向けた実践研究の場（12委員会）
 - ・ 国語／社会／算数・数学／理科／生活科・総合的な学習の時間／音楽／図工・美術／体育・保健体育／家庭科・技術家庭科／外国語活動・外国語／道徳／特別活動
- ③ 特別企画部 学習教材の開発、教育会や地域を調査・伝承研究の場（9委員会）
 - ・ デジタル広報／科学展／図工美術展／書道展／教材データベース
 - ・ 地図作成／社会科資料作成／会報編集／会誌編集

※ 教科等研究委員会については、同好会活動の活性化支援のため、同好会による教科等研究委員会への自己推薦制度(団体自己推薦)を引き続き取り入れる。

※ 年度末に研究のまとめをHPに掲載して発信、全会員とその成果を共有する。

※ 国語／社会科／算数・数学／理科／外国語活動・外国語／体育・保健体育／道徳の7委員会は、長野市教育センターの研究委員会との共同研究を行う。

(2) 研究調査・実践研究の方向性や基本計画等を話し合う。

①研究委員会世話係会 ②研究委員長会 ③研究総委員会

(3) 長野上水内地域の教育課程・授業研究のあり方について検討する。

2 講演講習事業

(1) 総集会

長野上水内教育会の主題「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」の実現に向け、会員の職能向上に係る研修の場として内容の充実を図る。講演会については、マスコミ等にも依頼して参加を広く一般にも呼びかけ、共に研修することを通じて教職員や教育会への信頼を高める。

① 期日 5月17日（土）午前

② 開催方法 オンラインと長水教育会館参集のハイブリッド開催

③ 内容

・ 同好会・視察研修・信濃教育会応募論文 活動報告と教育対話

テーマ「Tomorrow's school～私たちがNZで学んだことをどう生かすか～」

教育対話 コーディネーター：長野上水内教育会事務局長 田川 昌彦

助言者 信州大学教育学部教授 伏木 久始先生

パネラー 令和6年度NZ視察派遣に参加された皆さん

(2) スプリングセミナー：6月10日（火） オータムセミナー：11月6日（木）

研修機会の少ない常勤・非常勤講師、支援員、産育休者、5年目までの若手教諭、大学生等について、教師としてのあり方を学び、研鑽を積む機会を確保するとともに、学校を超えたつながりをもつ場とする。第2回は信濃教育会と共催、上高井教育会と共同開催。

(3) 初任者研修会 4月8日（火）

長野市初任者研修会と共同して実施する。上水内の初任者も参加する。長野上水内教育会・信濃教育会についての理解を深めるとともに、教師としての自覚と意欲を高める研修の場とする。

(4) 夏季大学 7月29日（火）～7月31日（木）

教師としての生き方の根幹を問い、教師としての専門性（授業力の基礎等）を磨くとともに、人間性の向上を図る。会員以外の教職員や一般の参加も募り、地域ともども生涯学習の機会とする。教育、自然科学、芸術・芸能、哲学、歴史、スポーツ等の9講座と音楽の夕べを開催する。

① 開催方法 第1～4講座：オンラインと長水教育会館参集のハイブリッド開催
第5～9講座：現地での臨地講習

音楽の夕べ：若里市民文化ホール

② 内容 7月29日（火）第1講座（歴史・自然科学）座談会

講師 長野市立博物館協議会会長 宮下 健司先生

戸隠地質化石博物館研究員 田辺 智隆先生

前いいづな歴史ふれあい館館長 富樫 均先生

野尻湖ナウマンゾウ博物館館長 近藤 洋一先生

テーマ「県歌 信濃の国～歌詞からたどる歴史と地学の旅～」

7月29日（火）第2講座（芸能）

講師 落語家 立川 談慶師匠

演題「自己啓発と落語術について～他 落語一席～」

7月30日（水）第3講座（教育） 初任研対象講座

講師 大阪多様性教育ネットワーク共同代表 土田 光子先生

演題「子どもを見る眼～自分のあたりまえを問い直す～」

7月30日（水）第4講座（自然科学）

講師 青山学院大学教授 福岡 伸一先生

演題「生命とは何か～動的平衡の視点から～」

7月31日（木）第5講座（芸術）長野県立美術館 ワークショップ

講師 県立美術館 学芸専門員 青山 由貴枝さん

テーマ「鑑賞とは～『よくみる』ってなんだろう～」

7月31日（木）第6講座（哲学）黒姫童話館 哲学対話

講師 長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科講准教授 神戸 和佳子先生

テーマ「こどもの世界へ～童話の森で哲学対話～」

7月31日（木）第7講座（自然科学）戸隠森林植物園周辺 フィールドワーク

講師 戸隠地質化石博物館研究員 田辺 智隆先生 中村 千賀先生

テーマ「戸隠の豊かな自然に触れる」（地質班・植物班）

7月31日（木）第8講座（歴史）松代方面 伝統文化の体験

講師 エコール・ド・まつしろ倶楽部代表 曲尾 正子さん 他5名

テーマ「真田十万石城下町の伝統文化を体験」

真田紐 古武道 投扇興 松代雅楽 松代と童謡 2講座選択

7月31日(木)第9講座(スポーツ)信州新町ろうかく湖 カヤック・SUP体験

講師 信州新町アウトドアベース 浅野 知延さん 山野内正樹さん

テーマ「中山間地域における地域活性〜カヤック・SUPで地域資源を巡る」

7月31日(木)音楽の夕べ 若里市民文化ホール 講演+ミニコンサート

出演者 シンガー 木山 裕策さん

テーマ「夢が自分を大きくする」

(5) 教育懇談会

長野上水内出身・在職の先生方が一堂に会し、講演や懇談を通して学び合い、県下各地の情報を交換し親睦を深め合う機会にする。

① 期日 8月2日(土)午後

② 会場 ホテルメトロポリタン長野

③ 内容 講師 長野市副市長 松山 大貴さん

演題 「サードプレイスでの学びの場の大切さ」

(6) 冬季大学

従来行われてきた研修に加えて、各同好会の研修・講演会等をパッケージとして示すことによって、より多くの会員に参加してもらえるようにする取り組みをさらに進める。

オンライン講演会 講師：熊本大学教育学部准教授 苫野 一徳先生

演題「体験してみよう！本質観取〜よい授業とは〜」

日時：11月29日(土)13:30~15:30

(7) 教師力向上部「共育塾企画運営委員会」企画『共育塾』

青年教師(経験年数の少ない教職員(常勤・非常勤講師を含む))が、悩みを共有したり、中堅教師に学んだりする場とする。また、ミドルリーダーが研修講座を企画運営したりすることによって、教師としての力量を高め互いの絆を深める。

(8) 教師力向上部「Edカフェ長水」(エデュケーションオンラインカフェ長野上水内)

中堅・中核教員が年間を通じて中心講師から学び、互いの教育観を語り合い、深め合うことを通して、力量を高め、互いの絆を深める機会とする。

中心講師：埼玉大学教授 岩川 直樹先生 信濃教育会会長 大日方 貞一先生

(9) 哲学対話

哲学を学んできた気風を長野上水内教育会として継承し、さらに若い教職員が哲学を学ぶ気風を高めるため、今年度も梶谷真司先生を講師にお迎えして、哲学対話を通して教育実践者としての自らの見方・考え方を深め広げる機会とする。

① 期日 2月21日(土)午後

② 会場 信州大学教育学部参集およびオンライン

③ 内容 講演 講師：東京大学大学院教授 梶谷 真司先生

演題：「考えることと書くこと〜対話的文章法の試みII〜」

3 研修助成事業

研修に対する補助金は、会員の主体的な活動で、その研究活動、研究内容が十分に意義あるものと認められるものに交付し、その充実と活性化に努める。また、その研究内容を多数の会員または一般の方に発表できるよう取り組む。

(1) 研修派遣

個人の資質向上のため研修派遣を行う。

日本連合教育会研究大会 8月21日(木)～22日(金) 茨城大会
信濃教育会総集会 7月5日(土) 佐久大会
信州教育の日 11月15日(土) 松本大会

(2) 研修補助

① 個人・グループ研修補助 49名程度 3万円 前中後期

② 個人・団体視察派遣(県内外)

③ 同好会補助

○ 補助金額 2万円+長野上水内教育会所属会員数×1名 1,200円

④ 同好会等県大会補助

○ 1大会3万円以内

○ 本教育会地域内での実施、本教育会後援、主催団体としての該当同好会

(3) 支会活動補助

支会活動の意義等の共通理解を深め、各支会の独自性を持った活動の充実と小中連携、会員の資質向上に努める。支会連絡会を行い、それぞれの特色を生かした活動について情報交換するとともに、支会のあり方や問題点について検討する。

○ 支会研修補助額 10万円+250円×長野上水内教育会所属会員数

○ 支会講演会補助 3万円

(4) 教育研究団体等補助

① 科学展・図工美術展・書写書道展の運営及び補助を行う。

② 教育懇談会の運営及び補助

(5) 研究報告書の発行

① 個人研修や視察派遣、同好会の研修を研究報告書にまとめ各校に配付する。

(6) 同好会活動の活性化

① 同好会の総会の日時・場所等を集約し、会員に周知する。

② 会誌にて活動紹介・報告をする。

③ 同好会の研修や講演会等の情報を、HPを通じて会員に周知する。

④ 各同好会実務担当者と教育会との連携を図るため、同好会実務担当者会議を設ける。

⑤ 「わくわくりーダースながの」を同好会の協力のもとで実施することを通して、同好会との連携を深める。

4 教育図書研究調査事業

委員会を組織して地域に関する調査をし、その成果を地図(長野市・上水内郡)、資料集(わたくしたちの郷土)、教材データベース(HP)としてまとめ、授業への活用を図る。組織する委員会は特別企画部内の3委員会とする。

① 地図作成 ② 教材データベース ③ 社会科資料作成

5 生涯学習支援事業

(1) 施設貸与

教育会会員など教師で構成する教育研究団体、一般教育研究団体、公益を目的とした児童・生徒及び地域住民に教育会館の会議室等を貸与する。貸与規程については各々別に定める。

① 施設を貸与する会館は次の通りとする。

○長野上水内教育会館 ○更級教育館

② 実施内容は次の通りとする。

○会員、教職員の会議、研究会、企画展等の貸与

○一般地域住民への貸与

(2) 地域・企業・関係団体との連携

講演講習事業の参加乗り入れなど、県シニア大学、退職校長会、郡市PTA連合会、賛助会等と連携を深める。

(3) 他団体との共催事業

① 生徒会サミット（中学校長会との共催）

8月30日（土）長野上水内教育会館参集 2月4日（水）オンライン

② わくわくリーダーズながの（長野市教育委員会と共催）年6回 同好会との連携

III 管理・運営のための諸会合等

1 会員

長野市及び上水内郡に所在する学校の教職員並びに教育関係機関職員で、この法人の目的及び事業に賛同し、入会した者をもって組織し、定款に基づいてその目的達成に向け事業を行う。

2 代議員の選出

会員を代表し、毎年4月実施の会員による選挙で各校1名の代議員を選出する。

3 役員・機関の職務及び権限の概要

(1) 総会

① 代議員によって構成する。

② 事業年度終了後3ヶ月以内に1回、本会の業務及び財産の執行に関し審議する。

③ 他に必要がある場合には定款に基づいて総会を開催する。

(2) 監事会

① 支会ごとに監事候補者を選定し、総会の決議により選任、3名以内で構成する。

② 本会の業務執行及び財産の状況を監査しその健全性を維持する。

(3) 理事会

① 支会ごとに理事候補者を選定し、総会の決議により選任し、3名以上11名以内で構成する。

② 理事の中から会長1名、副会長2名を理事会の決議により選定し、会長は代表理事、副会長は業務執行理事として本会の目的達成のため代表して業務にあたる。

③ 理事会は、本会事業推進のため幹事会・常任委員会を設置し、業務執行原案等の作成・検討、各担当部署との連携・執行にあたる。また、必要に応じて他の委員

会を設置することができる。

(4) 常任委員会

- ① 支会ごとに常任委員候補者を選定し、総会の決議により選任する。
- ② 本会事業推進のため、年9回程度開催し、業務執行の検討、業務指導等、その執行にあたる。

(5) 幹事会

- ① 理事会の決議により幹事候補者を選任し、会長が委嘱する。
- ② 本会事業推進のため、年13回程度開催する。業務執行原案の作成・検討をし、各部署との連携をして執行にあたる。

(6) あり方委員会

- ① 理事会の決議により委員候補者を選任し、会長が委嘱する。
- ② 長野上水内教育会の今後のあり方、会館維持等の課題等を協議する。

4 諸会合の予定

(1) 会計監査【長野上水内教育会館】 4月8日(月)

(2) 総会【Zoomによるオンライン】第5回は参集(更級教育館)

- ① 4月11日(金) ② 4月30日(水) ③ 6月23日(月) ④ 1月30日(金)
- ⑤ 3月 3日(火)

(3) 理事会【長野上水内教育会館】

- ① 4月11日(金) ② 4月18日(金) ③ 4月24日(木) ④ 6月16日(月)
- ⑤ 6月27日(金) ⑥ 9月 4日(木) ⑦ 10月 9日(木) ⑧ 11月14日(金)
- ⑨ 1月16日(金) ⑩ 2月16日(月)

(4) 常任委員会【長野上水内教育会館】

- ① 4月18日(金) ② 4月24日(木) ③ 6月16日(月) ④ 6月27日(金)
- ⑤ 9月 4日(木) ⑥ 10月 9日(木) ⑦ 11月14日(金) ⑧ 1月16日(金)
- ⑨ 2月16日(月)

(5) 幹事会【長野上水内教育会館】

- ① 4月11日(金) ② 4月18日(金) ③ 4月24日(木) ④ 6月16日(月)
- ⑤ 6月27日(金) ⑥ 7月11日(金) ⑦ 9月 4日(木) ⑧ 10月 9日(木)
- ⑨ 11月14日(金) ⑩ 12月 5日(金) ⑪ 1月16日(金) ⑫ 2月16日(月)
- ⑬ 3月23日(月)

(6) 支会連絡会【長野上水内教育会館】

- ① 6月16日(月) ② 2月16日(月)

(7) 研究委員会

- ① 世話係会 5月 1日(木) ② 総委員会 5月 9日(金) ハイブリッドで開催
- ③ 研究委員長会 5月29日(木) 10月27日(月) オンライン 2月10日(火)
- ④ 各委員会は総委員会時での年間計画による。

(8) 同好会(研究会)実務担当者会議 2月 2日(月)

5 広報

- (1) 委員7名程度で会誌編集委員会を組織し、会員の声を生かしつつ、学術資料として、また機関誌としての情報の提供や教育研究資料の累積、会員の資質向上等を願っ

て年間1号の会誌を編集・刊行する。本会及び7つの支会の事業内容をはじめ、教育活動・研修活動・報告・意見・教育理念等、教育会の機関誌として親しみやすい編集に心がける。

(2) 委員7名程度で会報編集委員会を組織し、年間3号を発行する。

(3) 本会の活動内容を広報するためにHPを作成し、適宜更新する。そのためにデジタル広報委員会を設置。内容の検討を行い、充実を図る。

令和7年度 更正収支予算書概要 R7.4.30 第2回総会で承認済み

	科目	内容	予算額 (円)
経常収益A	受取会費	会費 (1,400人)	32,073,600
	事業収益	会館使用料 印税 等	954,000
	受取補助金	更級教育館維持管理 市町村教委 等	1,783,000
	受取負担金	雑誌取扱手数料	165,000
	雑収益	預金利子 電柱敷地使用料 等	234,500
	経常収益合計		35,210,100
経常費用B	研究調査費	研究委員会旅費 諸謝金 賃借料 等	1,163,500
	講演講習会費	夏季大学 総集会 哲学対話 等	3,120,658
	研修助成費	個人グループ研修補助 同好会補助 等	5,452,750
	会誌等発行費	会誌 研修報告書 等	960,000
	教育図書研究調査費	社会科資料等 委員会旅費	120,000
	事業共通費	事務局給料手当 退職給付引当金 会議旅費 減価償却費 備品費 消耗品費 修繕費 委託費 光熱水料諸費 租税公課 保険料 賃借料 等	13,516,981
	管理費	会議費 会報発行費 事務費 等	11,957,902
	経常費用合計		36,291,791
財産額	当期経常増減額	A-B=当期一般正味財産増減額	△1,081,691
	一般正味財産期首残高		219,759,996
	一般正味財産期末残高		218,678,305